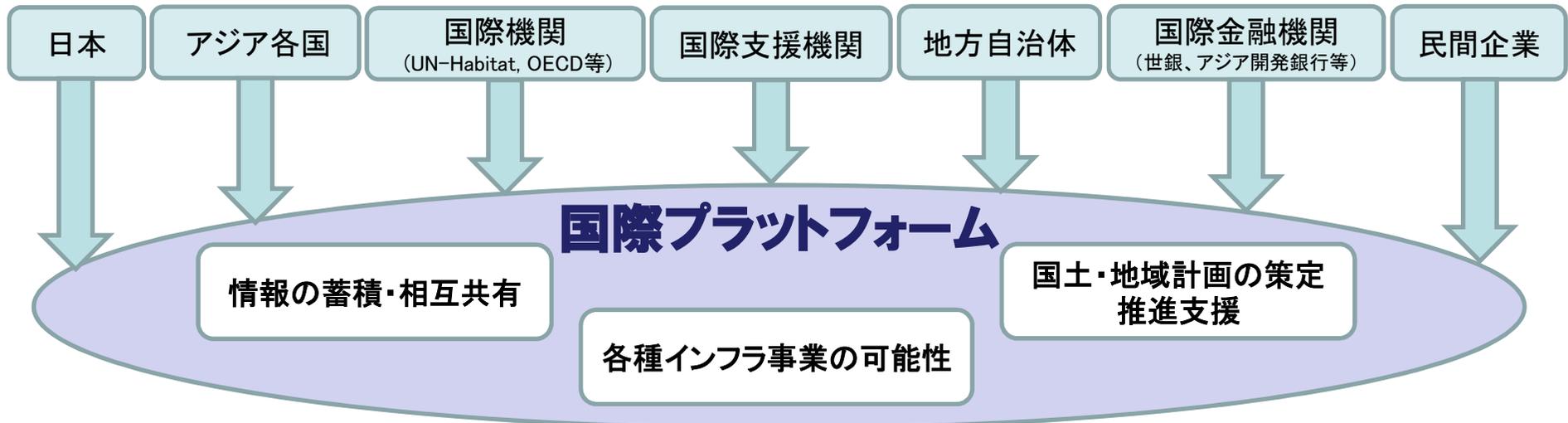


- ①国連ハビタットは、主として途上国における、スラム、水と衛生、安心安全など都市に暮らす人々の居住問題解決に向けて作られた国連機関。
- ②昨年10月に開かれた第3回国連人間居住会議(ハビタットⅢ)において、今後20年の取り組みの方向を示すニューアーバンアジェンダが採択。そのサイドイベントで我が国からプラットフォームの必要性を提示し、多数の国から関心が示された。
- ③特に、アジア地域は、近年、急速な経済成長にともなう無秩序な国土の開発や都市の拡大は大きな課題となっており、多くの国において国土・地域レベルでの計画や制度の必要性を認識。我が国にも多くの国から国土・地域政策に関する協力の依頼がなされている。



- 国際プラットフォームは、アジア太平洋諸国、国際機関、地方自治体やその他の関係者とともに、2018年中に設立予定。
- その目的は、関係国における国土計画・地域計画の策定や推進を図るため、これまでの経験や知見を相互に共有・学習すること等。